



すずしろ22 2024 5月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 4月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数(人)	参加延べ人数(人)	農家数 (軒)	累計援農時間(h)	累計参加延べ人数(人)
2024年4月	1,741	69	495	23	6,612	1,885
2023年4月	1,894	66	525	23	6,900	1,924
増減	-154	+3	-30	0	-288	-39

4月は、菜花、小松菜などの葉物野菜やカブなどの出荷作業の他、ジャガイモ、里芋や長芋の定植作業も行われました。雨も降り、気温も上がって雑草も伸び、草取り作業にも追われました。そんな4月の援農時間は、1,741時間となりました。3月より100時間の増となっておりますが、昨年4月比では、154時間の減となっております。累計援農時間は6,612時間で、こちらも288時間の減となり、減少傾向が続いております。

会報4月号で、定期援農に入れる方の呼びかけを行いました。早々、小山勲農園への応募があり、週2回の定期援農参加が決まりました。また、援農呼びかけの若林さんからのスナップエンドウ収穫作業の急募に対しても、数名の応募がありました。援農参加へのご協力、ありがとうございました。



なお、本「援農状況」でもご紹介している通り、毎月たくさんの会員の方が援農に参加されております。それでも、農家さんの依頼に対応できず、各援農窓口の方は苦勞されております。そこで改めてのお願いです。無理のない範囲とはなりますが、援農に参加頂きますよう、ご協力をお願い致します。(援農サポーター/北尾)

理事会報告 5月度理事会 (5/16 (木) 17:30~21:00 台町市民センター。8名)

- ① イベントの計画 (梅収穫と梅干し作り、ジャガイモ掘り、ブルーベリー摘み取り援農体験)
- ② 援農窓口の変更について
- ③ アクティブ市民塾の受け入れについて
- ④ イベントの検討 (納涼祭 (8月末)、はちっこキッチン見学 (10月中旬))
- ⑤ 管理機と運搬車の援農での使用を認めるか (検討中) 他

事務局から

- ① 毎年夏に行っている「桑の葉収穫」の援農作業は、桑の葉茶などを製造・販売している会社の都合により、本年の実施はなくなりました。
- ② 梅収穫と梅干し作り (6/22) は定員に達したため、締め切りました。



野草あれこれ ドクダミ (ジュウヤク) ドクダミ科ドクダミ属

本州から沖縄、および台湾、タイ、中国、ヒマラヤの暖帯から熱帯に分布。山野の樹陰や庭の湿地に生える多年草。特有の臭気がある。初夏に白い花弁のような4枚の総苞片の上に、花を穂状につける。和名は「毒傷み」だろうと言われる。別名ジュウヤクは漢名藪の字音に薬をつけ10種類の薬効があるからという。薬効は10どころか247にも及び。血管を強化するので心臓病や高血圧、動脈硬化を予防するほか、解毒、健胃、整腸、便秘、痔の改善に効果がある。腎臓の機能も活発にしてくれる。独特の強いにおいは抗菌性があるデカノイルアセトアルデヒドによるもの。生薬をもんだり、火にあぶって1日数回、患部に貼れば、この成分が、おできや切り傷、ただれを癒してくれる。干せばにおいがなくなるが、抗菌性も消滅する。摘み取ってお茶にしたり、アルコールに浸けてチンキにして化粧水にも活用出来る。



イベントのお知らせ

① 「ジャガイモ掘り」 7/6(土) 10:00~12:00 雨天の場合、13(土)同時間

詳しくは4月報参照。

申込・問合せ：嘉藤 (050-7580-7472、nechan926@gmail.com)

② 「ブルーベリー摘み取り援農体験」

ブルーベリーを3パック(約 1.5kg)摘み取り。2パックは農家さんへ、1パックは援農のお礼として頂く、という摘み取り援農体験です。1時間半位で摘み取れます。収穫したブルーベリーは小中学校の給食で使いますので、商品として出荷できるものを摘み取ります。

日時：8/2(金)、3(土)、4(日) 9:00~12:00 (受付は10時まで)

定員：各日共先着10組(車10台まで) 30名程度 雨天中止

参加費：すすしろ22会員無料 会員外・小学生以上100円(保険代)

場所：下恩方町番場農園 ブルーベリー畑

(聖パウロ学園高等学校手前左側)

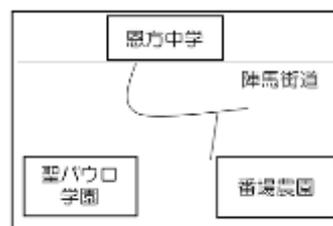
バスでご来場の場合

高尾駅北口①大久保又は陣馬高原下行き

「大久保下車」徒歩7~8分

持物：飲み物、手提げ袋等、帽子

申込：佐藤 (mizue06230415@yahoo.co.jp ショートメール 090-4912-2117)



農家さん紹介

【夏はトマト・キュウリ、冬はニンジン・長ネギを出荷】

犬目町 坂本農園

坂本さんのお宅は犬目交番近くで、畑は2か所あり、檜原町の広い畑でニンジン・長ネギ・サトイモ・カボチャなどを、犬目町の丘の林に隣接したハウスでトマト・キュウリなどを作られています。犬目町の畑では、林から季節ごとの鳥の鳴き声が聞こえてきます。現在すすしろ22の8名(1~3名/日)が援農に参加し、午前はハウス・畑作業、午後は出荷準備をしています。

作業は種まきから育苗・生育管理・収穫・後片付け・出荷準備まで幅広い内容があります。春から出荷するトマトは、秋に種まき・育苗、冬に大きな鉄骨ハウスの防寒対策をしてから定植後に冬越し、春から生育管理をしつつ収穫を開始します。ハウス作業については後片付けのし易さも意識して生育場所の準備や管理作業をすることが1年目の援農時の印象に残りました。春~初夏は、夏野菜苗の販売にむけた育苗でも少し忙しくなります。冬に出荷するニンジン/長ネギは収穫後に、それぞれの専用機器で洗浄/根と葉先のカット・皮剥きし、汚れを落としてから箱詰めします。作物共通として作付け前の肥料撒き・収穫後の片付け、また時に緑肥の種播き・作業環境改善のサポート作業なども行います。

対外的な面として、坂本さんは八王子市の農業委員でもあり、「とうきょう元気農場」のアドバイザーや、若手農業者の研修受け入れもされています。また去年は近隣の小学生向けにニンジン収穫体験も行い、子供たちには楽しんでもらえたようです。

(聞き取り：安田(坂本農園 援農窓口担当))



畑の緑肥と林



ハウスでトマト苗を生育



収穫間近の大玉トマト

*現在、坂本農園では出荷準備の援農に参加して頂ける方を募集しています

(男女問わず火・木曜日 午後13-16時(曜日は応相談))。

[連絡先] 援農サポート 北尾 (090-9834-5683) tkitao@ac.auone-net.jp